

3・4水野総決起集会へ

三月四日、勝浦市民会館において、水野選挙闘争勝利に向け、地域の労働者も含めた総決起集会が開催される。

われわれは、二月一五日の第三三回定期委員会で決定された、水野・中江選挙闘争勝利に向けた取り組みに踏まえ、全力動員体制で総結集しなければならぬ。

全力で水野選挙闘争に起とう！

勝浦市議選は、定数二四名の内、現職死亡・引退予想も含め六名の現職議員が立候補しないと言われ、この間、「無投票ムード」が流れていました。

しかし、ここに至りて新人の立候補予定者が相当数明らかになるなど、現時点で計一〇名の立候補が噂されるように、「無投票」ということはありえないというところを改めてはつきりさせ、全力で取り組みを強化しなければならぬ。

戦略的意義を持つ勝浦市議選！

とりわけ、今回の勝浦市議選への挑戦は、決定的に重要な意味をもっている。

ローカル線の度重なる切り捨て攻撃に見られるような、JR当局の攻撃を本格的に跳ね返すためには、職場からの闘いをつくりあげると共に、地域からも「JR体制」を包囲していく闘いが絶対に必要なのだ。

この観点から戦略的な闘いの構えをつくりあげることこそ、最も肝要と言える。

勝浦の地で展開される

「JR体制」との闘い！

とくに、同じJR関係において、茂原旅行センターの岩瀬所長が、JR総連・JR当局の「ぐるみの推薦候補」として、立候補することが明らかとなっている。

これはJR千葉支社が、「支社の面子にかけて落とすな」と全体重をかけて勝浦市議選に入る構えを示していると共に、動労千葉組織内候補である、「水野選対シフト」であると言ったことができる。

動労千葉の団結力の強さと

妻みを示す場となった水野選対まさに現在、われわれが闘っている「JR体制」との闘いを勝浦の地においても現出させることとなったのだ。

われわれ動労千葉の、団結力の強さと妻みを徹底的に知らしめようではないか！

「全国にはばたこう」運動を

さらに押し広げる勝浦市議選！

今回の統一地方選挙を巡る全体情勢は、「五五年体制」が崩壊した状況のなかで、一切の既成政党が瓦解し、政界再編の動きが激しく続いている。

社会党も無残に路線転換し、いままで自民党政権のときにさえ出来なかつたような、一切の反動法案が軒並み国会を通過している。

まさに戦後はじめての翼賛政治状態が生み出されている。

このような動きに抗し、本当に労働者の利害を代表し、地域住民の声を代弁していく勢力こそが、最も求められていることへの認識から、われわれは国鉄闘争を水路として、「全国にはばたこう」運動を展開してきた。

今回の統一地方選挙闘争こそ、その運動の一環として極めて重要な位置を占めているのだ。

第33回定期委員会において決意表明！



闘いを支え良識を代表する！

勝浦・水野候補



四選目指し全力をあげ闘う！

船橋・中江候補

使命をもって勝浦市議へと立候補する。決意はますます固まっている。勝浦においては定数二四のうち、新人七名の立候補が噂され、現職議員は現在様子を伺っている。新人の中にはJR総連・JR千葉支社当局一体となった候補までいる。今選挙闘争は今や、動労千葉の闘いを地域で支え、地域住民の足を守るとともに、勝浦市の良識をも代表しなければならぬ闘いとなった。選挙を勝ち抜いて動労千葉の議員団を作っていきたい。

中央政治への不信が大きくなっていく中で、その影響がどれだけの投票率となるか。船橋においては定数五二のうち、引退・立候補同数が想定されるなど、少数激戦が予想される。候補者が地域に片寄るなど激しい選挙戦となる。労働運動と密接した運動を展開し、動労千葉の影響力を地域に定着させていく決意である。

中江昌夫事務所開き 95年2月25日 (土) 14時

場所 中江昌夫事務所 船橋市前原東4の20の10

武内ビルノ階

水野選挙闘争勝利3・4集会

場所 勝浦市民会館 18時ヨリ